

作成 2019年5月7日 (第1版)
更新

ウイルスと菌の違い

細菌には自分自身で生きていくための機能が備わっていますが、半生命体であるウイルスには自己増殖機能がなく動物の細胞への感染を必要とします。

また、ウイルスと細菌では大きさや構造が異なります。細菌をバスケットボールとすると、ウイルスはゴルフボールくらいの大きさに例えられます (おおよそウイルスは菌の1/100から1/1,000)。



ウイルスの特徴

- ウイルスの大きさは数十ナノメートルから数百ナノメートル。
- 自己繁殖することができません。
- 細胞の中に侵入して増殖します。
- 1つの粒子が宿主細胞の中で一気に数を増やされ、放出されます。

細菌の特徴

- 細菌の大きさは数マイクロメートルから数十マイクロメートル。
- 自ら増殖するために必要な酵素や遺伝子を持つ生物です。
- 人体に入り込むと細胞分裂を繰り返して自己増殖を始めます。
- 2分裂によって2のn乗の形で対数的に数を増やします。